

Audi

QUATTRO RALLY

TAMIYA
静岡市恵田原3-7 千422-86101/24スポーツカーシリーズNO.36
アウディ・クアットロ・ラリー

4輪駆動車にはブレーキング時や加速性能など、確かにFR、フロントエンジンリヤドライブ車やFF、フロントエンジンフロントドライブ車よりすぐれた点を見つけることができます。しかし、メカニズム的に複雑になること、その結果、重量が増加し、メカニカルトラブルの危険性も増えるといったデメリットももちろん出てきます。FRやFFのメカニズムが成熟されていく中で、4輪駆動がオフロード車など限定された車種だけに使用されるようになっていったのもそんな所に原因があったのでしょう。しかし、1982年、FR車やFF車の多くをしりぞけて、世界ラリー選手権のチャンピオンカーに輝き、4輪駆動の新しい可能性を証明してみせたのが、高性能4輪駆動車、アウディ・クアットロでした。

西ドイツ・アウディ社の開発した4輪駆動GTカー、アウディ・クアットロは1980年のジュネーブショーで発表され、人々の話題を集めたモデルです。そして、ラリータイプの開発は量産タイプの開発とはほぼ時を同じくして進行されていたと言われていますが、1981年の世界ラリー選手権の第1戦、モンテカルロラリーに早々とデビューします。続く第2戦、雪と氷のスウェーデンのラリーで早くも優勝を飾る大活躍。4輪駆動の可能性に疑問をなげかけた多くの人々を驚かせることになったのです。

イタリア語で4を現わすクアットロの名の通り、アウディ・クアットロは4輪駆動車ですが、2輪駆動、4輪駆動の切り換えができない常時4輪駆動方式を取っています。大きな特徴となるのはデフギヤをセンターとリヤに計2つ装備している点で、しかも、それぞれのデフギヤは車内より別々にデフロックしたり、デフロックを解除したりすることができるのです。エンジ

ンはKKK製ターボチャージャー1基を装備したアウディ独特の直列5気筒2144ccを搭載。ノーマルでも200馬力を発生し、ラリーバージョンではさらにチューンアップが施され、実に300馬力を発生します。パワーアップに伴ない、サスペンションはウィッシュボーン、タイロッド、スプリング、ショックアブソーバーなどが強化され、ブレーキも4輪共ベンチレーテッドディスクとなっています。また、ボディ関係もチューニングが施され、ボンネット、フロントフェンダーはアルミ製、トランクリッドはプラスチック製パーツに変更され、軽量化が計られているのです。さらに、外観的にも、より大型のインタークーラーを装備するため、フロントグリルが前方に張り出したり、オイルクーラーを内蔵した大型のリヤスポイラーを装備するなど、いっそう迫力たっぷりなスタイルとなっています。

1981年にその可能性の大ききを見つけたアウディ・クアットロは1982年より、本

格的に世界ラリー選手権に挑戦を開始。ワークスマシンは主にハンヌ・ミッコラ、アラン・ハーツ組、そして、女性ラリーストとして有名なミッシェル・ムートン、ファブリッツィア・ボンズ組にゆだねられ、82年は7つのラリーに勝利を記録。ポルトガルラリー、アクロポリスラリー、ブラジルラリーの各ラリーでムートン・ボンズ組が、1000湖ラリー、RACラリーではミッコラ・ハーツ組が、そして、さらにサンレモラリーとスウェーディッシュラリーでブロンクビスト・セデルベルグ組が勝利を取ったのです。その結果、見事アウディは1982年の世界ラリー選手権のメーカーチャンピオンを獲得。また、RACラリーでも2位に入るなどの活躍を見せたムートンはドライバーズチャンピオンシップでも2位に輝いたのです。4輪駆動とターボエンジンとの組み合わせによる高性能はワークsteamばかりでなく、数多くのプライベートエントラントによっても大活躍をもたらしました。



作る前に必ず
お読み下さい。

★お買い求めの際、または組み立ての前には必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などありました場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。なお組み立てを始められた後は、製品の返品、交換などに応じかねます。

★タミヤからはピン入りの接着剤タミヤセメントとペン型のタミヤセメントペンが別売されております。モデルをきれいに仕上げるタミヤセメントをお使い下さい。

★組み立てに入る前に、説明図を最後までよく見て、全体の流れをつかんで下さい。

★ニッパー、ピンセット、ナイフ、ドライパー等の工具を用意して下さい。

これは塗装指示のマークです。全体の塗装はP6のペインティングページを参考にして下さい。各部の塗装指示はすべてタミヤカラー（アクリル塗料、ペイントマーカー、エナメル塗料、タミヤスプレーカラー）の色名で指示しました。

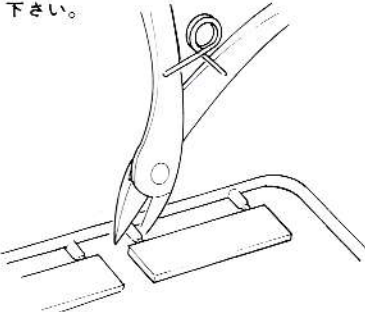
★塗料は、必ずプラスチックモデル用塗料をお使い下さい。

不要部品

A2、A3、A5、A6、B5(1個)、B9、B13、B19、B20、B26

《部品を切りはなす》

部品をランナー（枝）から切りはなす場合には手でもぎとらないでニッパーやナイフなどで正しい位置に切り取って下さい。



1/24情景アクセサリー（キャンバスフレズセット）

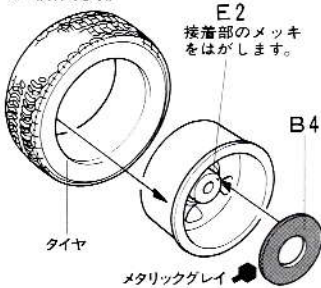


1/24の自動車モデルと合わせて情景作りを楽しんで下さい。一緒に飾るだけでも雰囲気はいつそう高まります。人形5体にベスパのスクーターつきです。

1 シャーシー部品のくみため

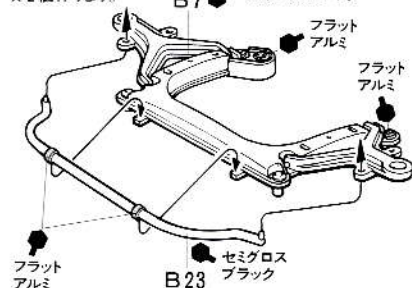
《ホイール》

★4個作ります。



《ロアアーム》

★2個作ります。

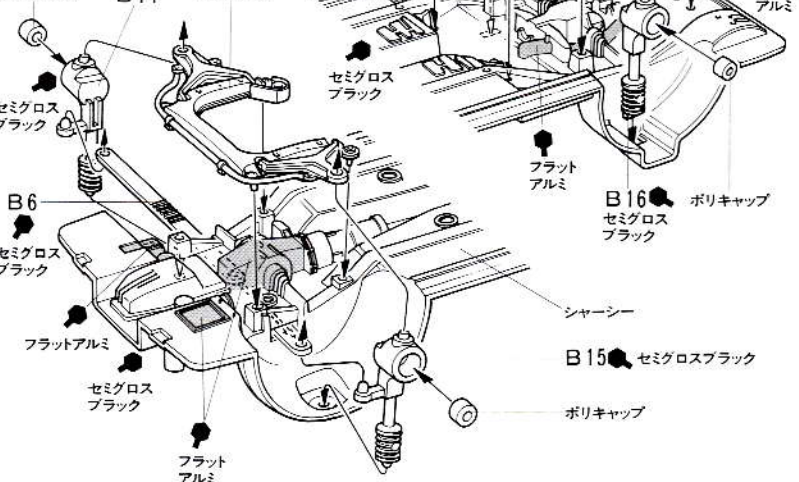


2 サスペンションのくみため

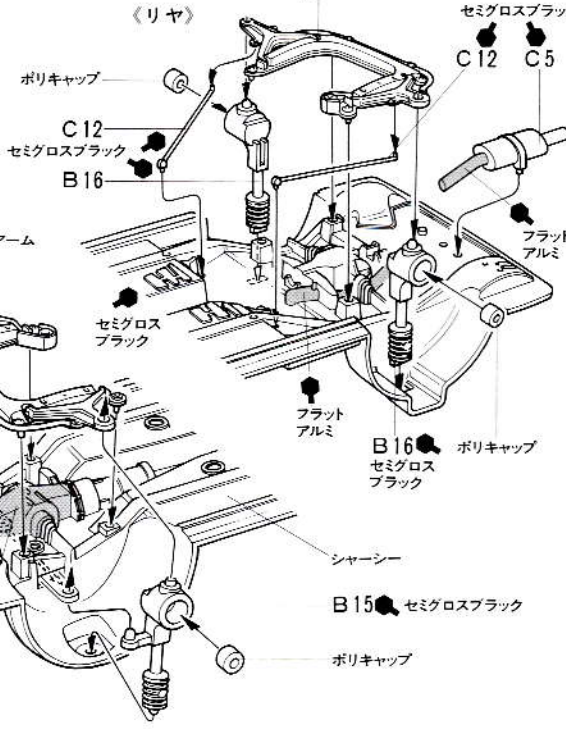
《フロント》

★B6、14、15は接着しません。

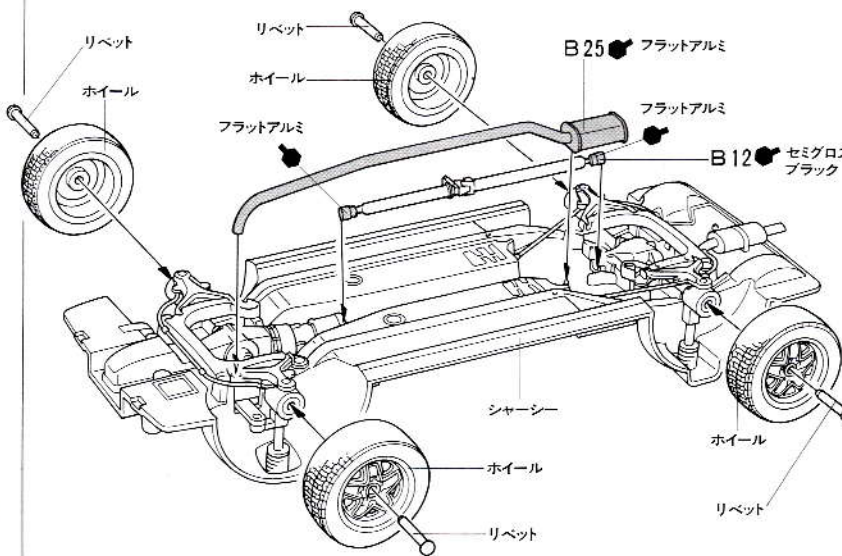
ポリキャップ



《リヤ》



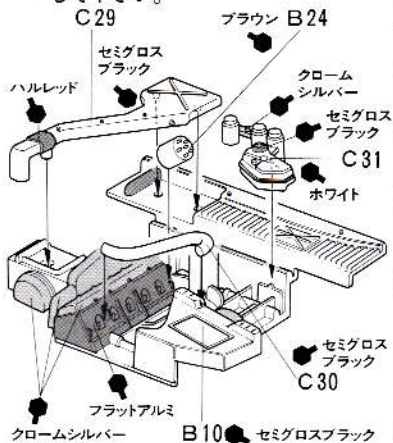
3 ホイールのとりつけ



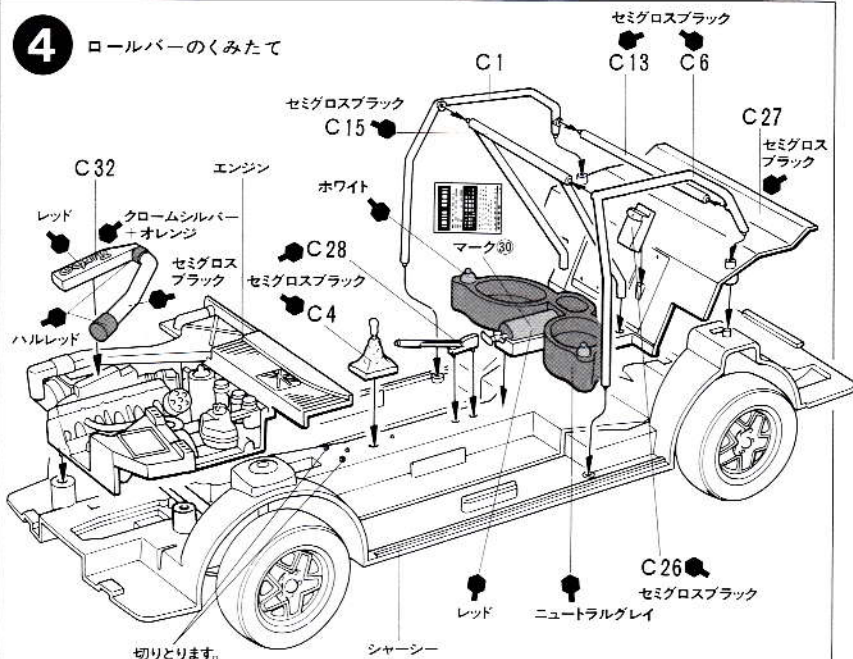
4 <ロールバーのくみため>

<エンジンのくみため>

● エンジン部の塗装は箱絵を参考にしてください。



4 ロールバーのくみため



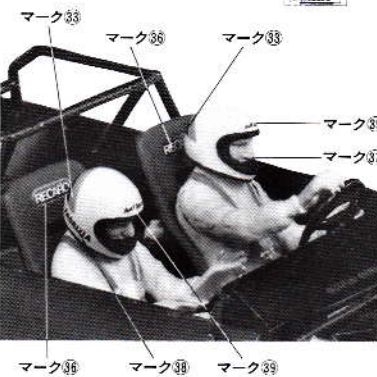
6 <コックピットのくみため>

<人形のくみため>

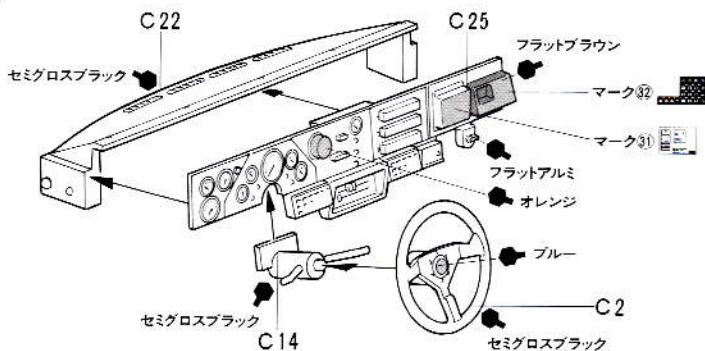
● ドライバー
うてはハンドルに合わせて接着します。



● ベースノート
プラ板や厚紙などに右の図を
切りとってはり、ナビゲータ
ーに持たせます。

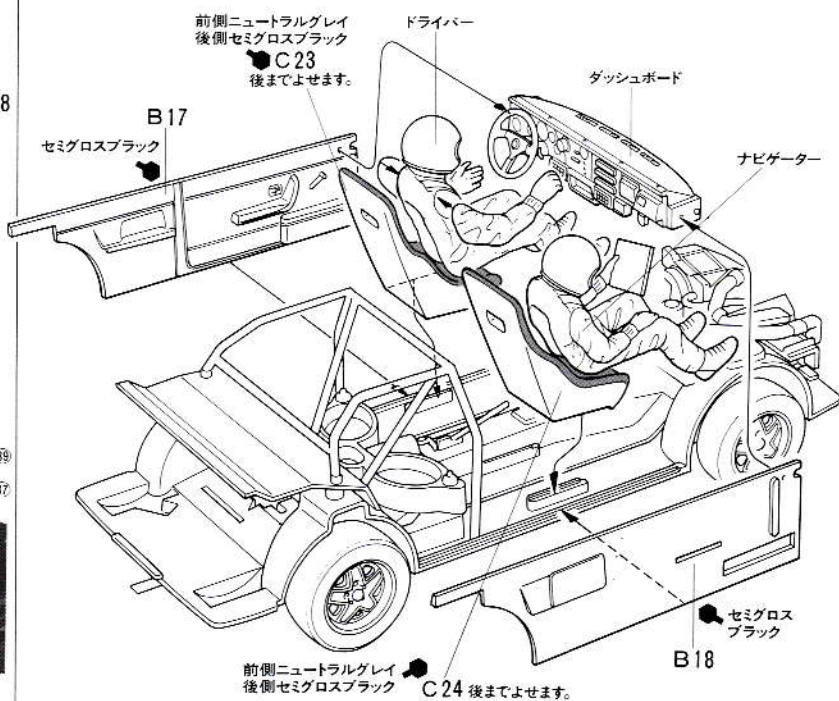


5 ダッシュボードのくみため



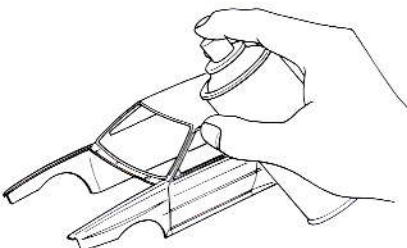
● 室内は黒で統一されていますが、
使用されている材質の違いを表現
してみるとよいでしょう。

6 コックピットのくみため



《ボディの塗装》

ボディはくみたてに入る前に塗装をしておきます。ボディの塗装にはスプレー式タミヤカラーが便利です。

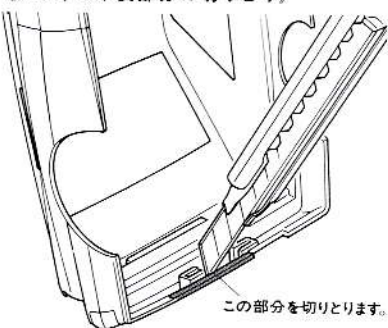


《完成写真》

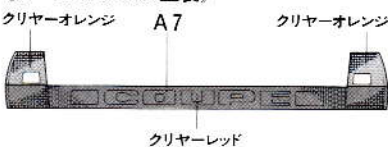


9 《ウインドウのとりつけ》

《ボディの不要部分の切りとり》



《テールランプの塗装》



上図を参照して切りとります。

レッド

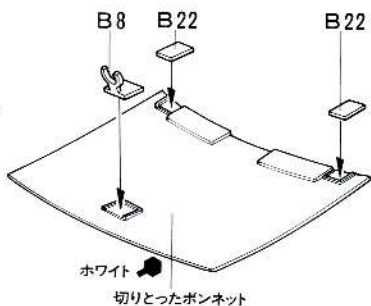
A7
上図を参照して
塗装します。

B5
セミグロスブラック

7

ボンネットのくみたて

ボンネット部を下図のようにナイフで切りはなし、脱着式にすることによりエンジンを見ることができます。

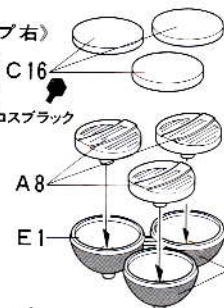


8

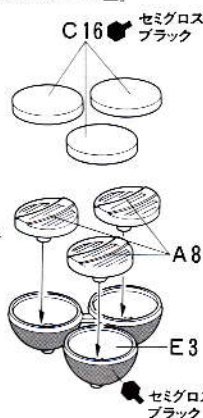
ボディ部品のくみたて

《補助ランプ右》

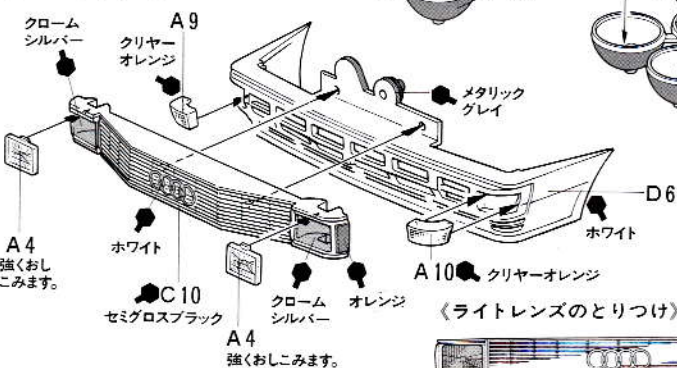
★補助ランプはA8、C16のどちらか選んでとりつけます。



《補助ランプ左》



《フロントグリル》

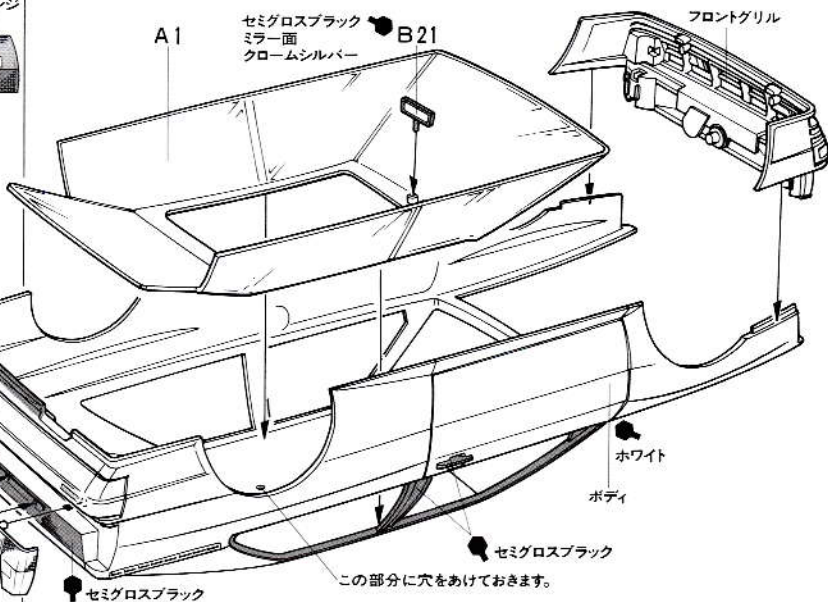


《ライトレンズのとりつけ》

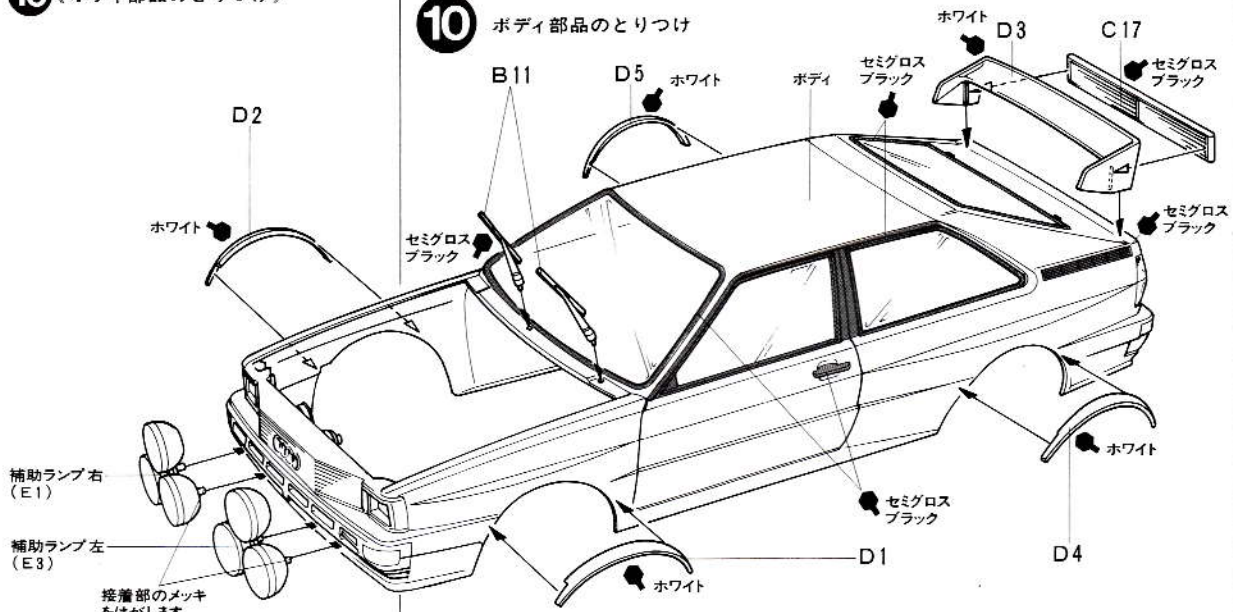


9

ウインドウのとりつけ

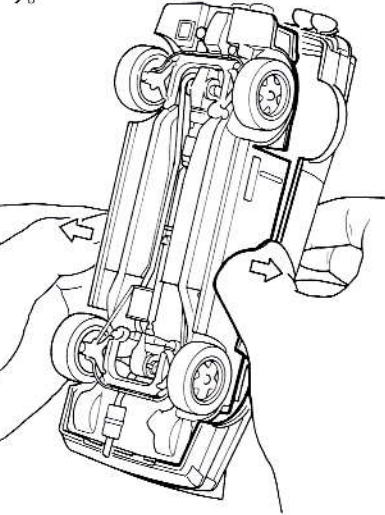


10 〈ボディ部品のとりつけ〉



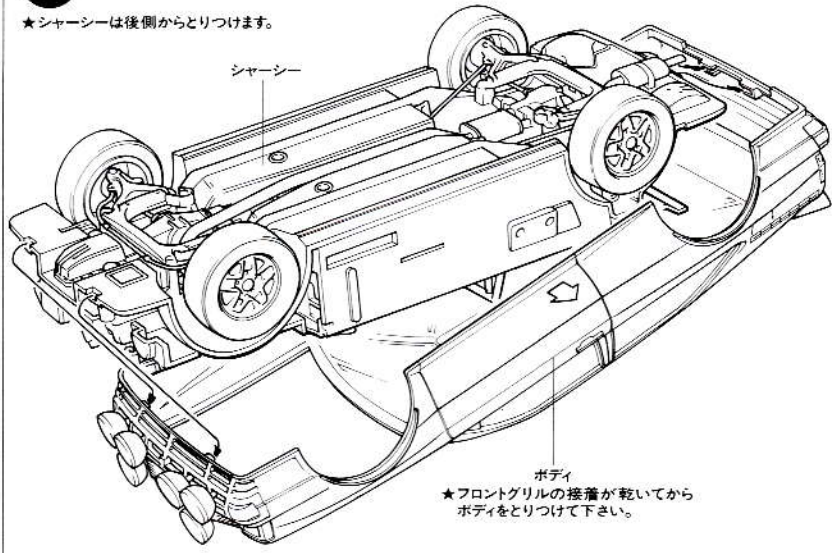
11 〈ボディのとりつけ〉

シャーシーは後側からとりつけます。下図のようにボディの両側を広げるようにすると楽にはめ込むことができます。



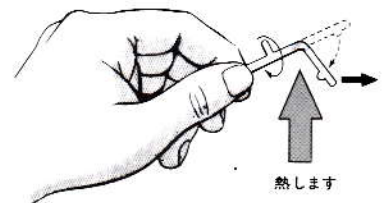
11 ボディのとりつけ

★シャーシーは後側からとりつけます。



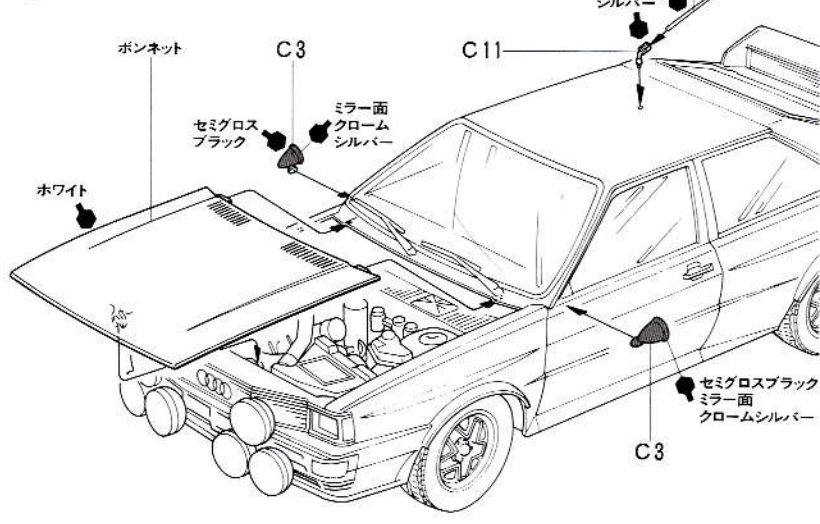
12 〈ボンネットのとりつけ〉

〈アンテナの作りかた〉



★ランナー(技)を利用して作ります。上図のように熱し曲ったらじをひっぱりのばします。動かさずに15秒ぐらい冷したら7cmに切って使用します。

12 ボンネットのとりつけ



PAINTING

《オーディオ・クアットロ・ラリーの塗装》

1982年の世界ラリー選手権で見事メーカーチャンピオンに輝いたオーディオ・クアットロのラリータイプは白を基本色に、オーディオのワークスカラーによる塗り分けが施されています。ワークスカラーはレッド、グレー、そして、ダークブラウンの3色です。加えて、ボンネット上とルーフ上にはオーディオの文字も大きく描かれています。ワークスカラーの塗り分けはキット付属のマークを使用するか、あるいは塗装してみるのもよいでしょう。塗装した場合の文字のみのマークも用意されています。このキットには1982年のアクトポリスラリーで優勝したムートン・ボンス組のマークをセットしてあります。また、クアットロはプライベートチームの手に躍っても活躍していますので、カラーリングを調べて塗装したり、自分がオーナーになったつもりでオリジナルな塗装をくふうしてみるのも楽しいでしょう。

《使用する塗料》

- ホワイト……………X-2(TS-7)
- レッド……………X-7
- クロームシルバー……………X-11
- セミグロスブラック……………X-18
- クリアーオレンジ……………X-26
- クリアーレッド……………X-27
- ハルレッド……………XF-9
- フラットアルミ……………XF-16
- ニュートラルグレイ……………XF-53
- メタリックグレイ……………XF-56

タミヤニュースを読もう

タミヤニュースはモデル作りの情報誌として多くの方に愛読されています。ご希望の方は模型店でおたずね下さい。当社より定期購読する方法もあります。

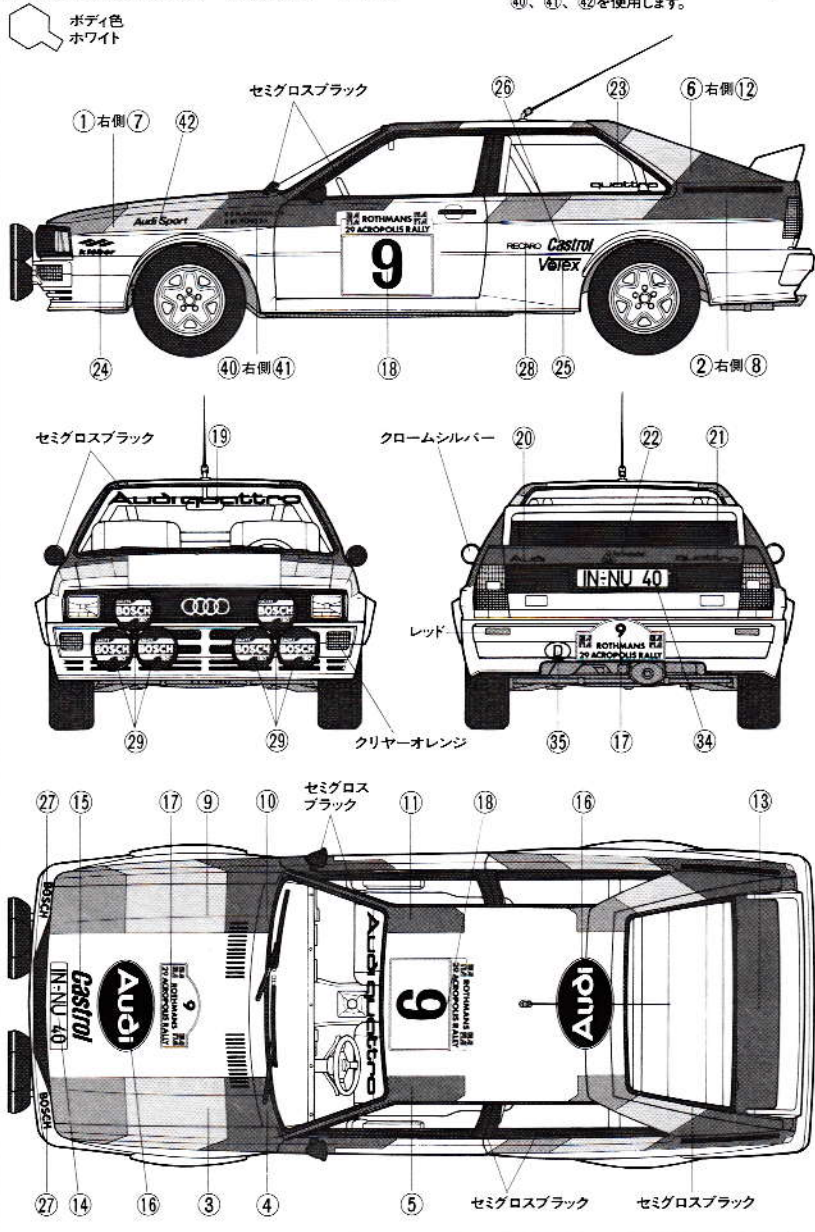
タミヤの総合カタログ

タミヤの全製品を詳しく解説した総合カタログは年に1回発行。ご希望の方は模型店でおたずね下さい。

★部品請求にはこのカードが必要です。部品請求をなさる方はあなたの氏名、住所、郵便番号（できれば電話番号）を1字づつはつきりとお書き下さい。

《オーディオ・クアットロ・ラリーの塗装とマーキング》

★カラーリング全体を塗装するときはマーク40、41、42を使用します。



Audi QUATTRO RALLY

1/24 アウディ・クアットロ・ラリー
部品の紛失したり、破損なされた方は、このカードの必要部品を丸でかこみ代金を現金書留又は定額為替で田宮模型アフターサービス係までお申し込み下さい。

- A 部品……………370円
- B 部品……………370円
- C 部品……………420円
- D 部品……………370円
- E 部品……………270円
- ボディ……………370円
- シャシー……………320円
- 金具袋詰……………270円
- マーク……………170円

0295 ★ ITEM 24036

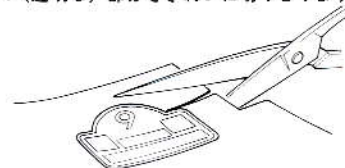
上記の価格は予告なく変更となる場合がございますので御諒承下さい。

★★ 田宮模型
静岡市恵田原3-7 〒422-8610

APPLYING DECALS

《スライドマークのはりかた》

- 1- 《マークをはる前に》
スライドマークをはる所のはりこりや油気を、ぬらした布で良くふきとって下さい。
- 2- 《マークを切りはなす》
はりたいマークをハサミで切りとり、必ずニス（透明な）部分をきれいに切りとります。



- 3- 《マークをぬるま湯にひたす》
ぬるま湯に10秒程ひたしてからひきあげタオルなどの布の上におきます。
- 4- 《マークをはる》
台紙のはしを手でもち、マークをスライドさせてモデルに移して下さい。

- 5- 《マークを正しい位置に移す》
指に少し水をつけてマークをぬらしながら正しい位置にずらしします。



- 6- 《布で水分をとる》
タオルなどのよく水気をすうやわらかい布でマークの内側の気泡をおし出ししながら、おしつけるようにして水分をとります。マークをはる場所が曲面や凹凸している時は、むしタオルでマークをおさえて下さい。マークがモデルの形になじみます。そのままマークが完全に乾くまで手をふれないで下さい。
★はみだしたマークはナイフでいねいに切りとって下さい。